|  |
| --- |
| **（　　　　　　　）さん　　認知症ケア能力評価表　　　記入者：****実習期間中****ワーク３-１****ワーク３-２** |
|  | **ア、評価対象項目** | **イ、評価方法** | **実施日** | **ウ、評価結果****できている点・課題** |
| **認知症ケアの知識** |  |  |  |  |
| **アセスメント** |  |  |  |  |
| **介護方法** |  |  |  |  |
| **介護評価** |  |  |  |  |

**（　　　　　　）さん　　認知症ケア指導計画書　　　記入者：**

**実習期間中**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **指導課題** | **優先順位** | **指導目標** | **期間** | **具体的方法** | **頻度** |
| **認知症ケアの知識** |  |  |  |  |  |  |
| **アセスメント** |  |  |  |  |  |  |
| **介護方法** |  |  |  |  |  |  |
| **介護評価** |  |  |  |  |  |  |

**認知症ケア能力評価表（評価項目例）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **ア、評価対象項目** | **イ、評価方法** | **実施日** | **ウ、評価結果****できている点・課題** |
| **認知症ケアの知識** | 〇認知症に関する昨今の施策の動向や内容〇パーソン・センタード・ケア等の基本理念等に関する基本的な知識〇認知症の定義や診断基準〇原因疾患の種類と特徴、中核症状、薬物療法等についての認知症に関する基礎知識〇BPSDの定義、BPSDの種類と特徴、BPSDに関する要因の種類と関係、原因疾患別のBPSDの特徴等に関するBPSDに関する基礎知識等 |  |  |  |
| **アセスメント** | 〇認知症ケアへの目標の設定（BPSDへの緩和だけでなく予防を視野に入れた生活目標の重要性）〇認知症ケアに必要なアセスメント視点：BPSDの種類、程度の評価、発症時の表情、行動、発言、発症時の高齢者の状態、低下している認知機能や程度、正常な認知機能、周囲の環境（住環境、刺激等）、他の高齢者、家族、職員等との関係状態や個々の人間関係の特徴、過去、現在の生活状況（ADL目標、活動、生活スタイル、趣味、思考等）等 |  |  |  |
| **介護方法** | 〇医師、看護師、PT、OT等と協力し、具体的な要因を緩和する等の調整方法〇コミュニケーション方法〇住環境や刺激の調整方法〇心理的な安定、健康管理、環境適応の促進、意欲の向上等を実現するための活動機会の提供方法〇他の高齢者、家族、職員との関係状態に応じた関係性の調整方法等 |  |  |  |
| **介護評価** | 〇BPSDの頻度や重症度の変化〇高齢者の心理状態の変化〇高齢者の生活状況や質の変化等 |  |  |  |

**〈面接結果〉**

**行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な知識２**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **ポイント** | **内容** |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護 | 行動・心理症状（BPSD）への介護目標 | 行動・心理症状（BPSD）の緩和だけでなく予防を視野に入れた、生活目標の重要性の理解 |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要なアセスメント視点 | 行動・心理症状（BPSD）の症状の様態発症時の表情、行動、発言認知機能及び障害の種類と程度心理状態や気持ち身体機能、健康状態、体調周囲の環境状態（住環境、刺激）他者との関係性（他の高齢者、家族、職員等）生活状況（ADL、日課、活動、生活スタイル、趣味、嗜好等） |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な方法 | 身体面への介護コミュニケ－ションの方法環境調整の方法活動支援の方法人間関係調整の方法 |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護の評価 | 行動・心理症状（BPSD）の頻度や重症度の変化と測定方法行動・心理症状（BPSD）発症要因の変化と測定方法高齢者の心理状態の変化と測定方法 |

**行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な技術**

|  |  |
| --- | --- |
| **ポイント** | **内容** |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護目標の立案 | 行動・心理症状（BPSD）への緩和だけでなく、高齢者の希望や必要性を考慮した生活目標と、目標達成のための生活支援目標が立案できる。 |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要なアセスメントを実践できる | 行動・心理症状（BPSD）の種類、程度を評価できる |
| 発症時の表情、行動、発言を観察し、評価し、発症時の高齢者の状態把握ができる |
| 低下している認知機能や程度と、正常な認知機能を評価できる |
| 行動・心理症状（BPSD）発症前後の感情、気持ち、気分等の心理状態を評価できる |
| 疾病、健康状態、体調、身体機能を医師、看護師、PT、OT等と協力して評価できる |
| 行動・心理症状（BPSD）に影響している周囲の環境（住環境、刺激等）を評価できる |
| ほかの高齢者、家族、職員等との関係状態や個々の人間関係の特徴を評価できる |
| 過去、現在の生活状況（ADL、日課、活動、生活スタイル、趣味、嗜好等）を把握できる |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な方法を実行できる | 医師、看護師、PT、OT等と協力し、身体的な要因を緩和、調整することができる |
| 行動・心理症状（BPSD）の要因のアセスメントや心理状態を安定させるためのコミュニケーションができる |
| 行動・心理症状（BPSD）の要因改善や、快適な生活支援のための住環境や刺激の調整ができる |
| 心理的な安定、健康管理、環境適応の促進、意欲の向上等を実現するための活動機会を提供することができる |
| ほかの高齢者、家族、職員等との関係状態に応じた関係性の調整ができる |
| 介護実施後の評価ができる | 行動・心理症状（BPSD）の頻度や重症度の変化を客観的に評価することができる |
| 行動・心理症状（BPSD）の発症要因の変化を評価することができる |
| 高齢者の心理状態の変化を評価することができる |